

平成23年川俣町議会第1回臨時会会議録

平成23年川俣町議会第1回臨時会は、1月20日川俣町役場議場に招集された。

1. 応招議員は、次のとおりである。

1 番 高橋道弘君	2 番 高橋真一郎君	3 番 嶋原利光君
4 番 高橋道也君	5 番 菅野清一君	6 番 齋藤博美君
7 番 昆久美子君	8 番 菅野意美子君	9 番 新関善三君
10 番 黒沢敏雄君	11 番 三浦浩一君	12 番 五十嵐謙吉君
13 番 石河清君	14 番 遠藤宗弘君	15 番 高野善兵衛君
16 番 佐藤喜三郎君		

2. 不応招議員は、次のとおりである。

なし

3. 出席議員は、次のとおりである。

応招議員と同じである。

4. 欠席議員は、次のとおりである。

不応招議員と同じである。

5. 地方自治法第121条の規定により、説明のため出席した者は、次のとおりである。

町長	古川道郎君	副町長	高橋孝君
総務課長	仲江泰宏君	企画財政課長	菅野浩市郎君
町民税務課長	高橋良之君	会計管理者	佐藤修一君
保健福祉課長	佐藤真寿夫君	建設水道課長	沢井一雄君
産業課長	沢口進君	教育委員長	佐藤捷善君
教育長	神田紀君	こども教育課長	佐藤光正君
生涯学習課長	佐藤勝雄君	総務課長補佐	大内彰君

6. 職務のため出席した者は、次のとおりである。

議会事務局長	高橋清美	書記	橋本文雄
--------	------	----	------

7. 会議事件は、次のとおりである。

会議録署名議員の指名

会期の決定

町長提案要旨の説明

報告第1号 専決処分の報告について

(専決第 10 号 川俣町光ファイバ通信網施設整備工事請負契約の一部
変更について)

議案第 1 号 平成 22 年度川俣町一般会計補正予算 (第 6 号)

◎開会及び開議の宣告

○議長（佐藤喜三郎君） ただいまの出席議員は１６人です。定足数に達しておりますので、ただいまより、平成２３年第１回川俣町議会臨時会を開会いたします。

会議を始める前に申し上げます。

規則では議場でのマスクの着用は認めておりませんが、今、風邪がはやっておりますので、今日は特別に認めたいと思います。ご了承ください。

これから本日の会議を開きます。（午前１０時００分）

◇

◇

◇

○議長（佐藤喜三郎君） 日程第１，会議録署名議員の指名を行います。

会議規則第１１８条の規定により、議長において１３番議員 石河清君、１４番議員 遠藤宗弘君を指名いたします。

◇

◇

◇

○議長（佐藤喜三郎君） 日程第２，会期の決定を議題といたします。

おはかりいたします。

本臨時会の会期は、本日１日にいたしたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

（「異議なし」という声あり）

○議長（佐藤喜三郎君） 異議なしと認めます。

よって会期は、本日１日とすることに決定いたしました。

◇

◇

◇

○議長（佐藤喜三郎君） 日程第３，町長から提案要旨の説明を求めます。古川町長。

○町長（古川道郎君） 皆さん、おはようございます。本日、ここに、平成２３年第１回川俣町議会臨時会を開催するに当たりまして、議員の皆様には、大変お忙しいところご参集を賜りましたことに心から御礼を申し上げます。

本臨時会に提出いたします案件は、「専決処分の報告」が１件、議案は、平成２２年度川俣町一般会計補正予算（第６号）でございます。本補正予算は、急速な円高の進行等の厳しい経済情勢に対応するため、デフレ脱却と景気の自立的回復のための緊急減少懸念への備えや、来年度予算実行への橋渡しなどの面から、国の平成２２年度補正予算において創設された、「緊急総合経済対策」による地域の活性化ニーズに応じて、きめ細かな事業を実施できるよう支援を行うこととされた「きめ細かな交付金事業」と、住民生活にとって大事な分野である「知の地域づくり」を進める「川俣教育推進プランに掲げる読み聞かせ・読書学習プラン」及び「生涯学習」を推進させるための図書のさらなる充実を図る「住民生活に光をそそぐ交付金事業」にかかる補正予算でございます。

さて、本日１月２０日から約２週間は、暦のうえでは大寒と呼ばれ、寒さが一年中で最も厳しい時期と言われております。昨年、猛威をふるった新型インフルエンザは、１１月頃より北海道と沖縄で流行の兆しが見られましたが、厚生労働省は、１２月２４日、全国的にインフルエンザの流行期に入ったと発表いたしました。また、国立感

感染症研究所は、今月 7 日、全国 5,000 の医療機関から報告されたインフルエンザ患者数は 9,863 人で、10 週連続の増加となったことを発表しております。

本町の小中学校、幼稚園、保育園の 1 月 19 日現在のインフルエンザ発症者数は 37 名でございまして、今月上旬に比べ 3～4 倍になっており、まだまだ予断を許さない状況にあると認識をしております。手洗いやうがいなどの徹底をはじめ、感染拡大を防止するための指導を強化しているところでございます。

また、1 月 19 日、環境省と県は、郡山市水道局の豊田浄水場貯水池で死骸で見つかったキンクロバジロ（かも類）2 羽から確認された鳥インフルエンザウイルスは、強毒性の高病原性（H5N、I 型）だったと発表いたしました。川俣シャモにつきましても、昨年来より消毒をはじめとする飼養衛生管理の指導・徹底により、鳥インフルエンザ対策を行っておりますが、今回の強毒性の対応についても再度全鶏舎の点検を行いまして安全の確認を行ったところでございます。福島県認証ブランドの名を汚さないよう、万全な対策を講じているところでございます。

それでは、提出議案等の要旨について、御説明申し上げます。

報告第 1 号は、専決処分の報告で、川俣町光ファイバ通信網施設整備工事請負契約の一部変更についてでございますが、地方自治法第 180 条第 1 項の規定に基づく専決処分を行いましたので報告を、行うものでございます。川俣町光ファイバ通信網施設整備工事請負契約を、NTT 川俣ビル前の、光ケーブルの引き出し部分の配線方法の変更や交通誘導員の減少などにより減額変更し、専決処分を行いましたので、同法同条第 2 項の規定に基づき、その報告を行うものでございます。

議案第 1 号「平成 22 年度川俣町一般会計補正予算（第 6 号）」は、既定の予算額 61 億 8,919 万 7,000 円に歳入歳出それぞれ 7,514 万 1,000 円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ 62 億 6,433 万 8,000 円とするものでございます。

歳入では、国庫支出金で、国の補正予算による「地域活性化交付金」のうち、「きめ細かな交付金」が 5,604 万 5,000 円、「住民生活に光をそそぐ交付金」が 1,031 万 5,000 円で、合わせて 6,636 万円の増額となり、歳入歳出増減額 87 万 1,000 円を財政調整基金から繰り入れる措置といたしております。

歳出では、「きめ細かな交付金事業」として、「農業用排水路整備工事」3 か所で 86 万 8 千円、「プレミアム付商品券発行事業補助金」が 200 万円、「町道維持補修工事」が 7 路線で 3,738 万円、「おじまふるさと交流館の空調設備工事」として 1,368 万 1,000 円の合わせて 6,074 万 1,000 円の増額、住民生活に光をそそぐ交付金対象事業として、「保育園、幼稚園、小学校、中学校、中央公民館、地区公民館」の図書の実をを図ることとして図書購入費、書架購入費、合わせて 1,340 万円の増額といたしております。

以上で提出議案の要旨の説明といたしますが、詳細につきましては、担当課長に説明をいたさせますので、ご審議の上、議決を賜りますようお願い申し上げます。

以上で提案要旨の説明といたします。よろしくお願いいたします。

◇

◇

◇

○議長（佐藤喜三郎君） 日程第４，報告第１号「専決処分の報告について（専決第１０号、川俣町光ファイバ通信網施設整備工事請負契約の一部変更について）」、報告いたします。

企画財政課長。

○企画財政課長（菅野浩市郎君） 報告第１号、専決処分の報告について

地方自治法第１８０条第１項の規定により、下記のとおり専決処分したので、同法同条第２項の規定により報告する。

記

専決第１０ 川俣町光ファイバ通信網施設整備工事請負契約の一部変更について
平成２３年１月２０日

川俣町長 古川道郎

裏面をご覧ください。

専決第１０号、川俣町光ファイバ通信網施設整備工事請負契約の一部変更について

次のとおり請負契約を変更する。

１ 契約の目的 川俣町光ファイバ通信網施設整備工事

２ 契約金額 変更前 ２億１，２１０万円

（うち消費税及び地方消費税１，０１０万円）

変更後 ２億８８０万７，２００円

（うち消費税及び地方消費税９９４万３，２００円）

３ 契約の相手方 福島市山下町５番１０号

東日本電信電話株式会社 福島支店

支店長 渋谷直樹

平成２２年１２月２８日

川俣町長 古川道郎

それでは、ご説明を申し上げます。

川俣町光ファイバ通信網施設整備工事につきましては、東日本電信電話株式会社福島支店を相手方とし、平成２２年７月２２日に工事請負を締結し、工事を進めておりましたが、工事内容に変更の必要性が生じたため、平成２２年１２月２８日付で地方自治法第１８０条第１項の規定に基づき町長において専決処分による工事請負契約の一部変更を行ったので、同法同条第２項の規定に基づき議会に報告するものでございます。

変更の主な内容は、ＮＴＴ川俣ビル内の光ケーブルの引き出し部分の配線方法の変更や交通誘導員の員数減少などとなっております。これらの変更にかかる金額は、３２９万２，８００円の減額となり、その結果、契約金額は当初の２億１，２１０万円から２億８８０万７，２００円としたものでございます。

以上で専決処分の報告の説明といたします。

◇

◇

◇

○議長（佐藤喜三郎君） 日程第5，議案第1号「平成22年度川俣町一般会計補正予算（第6号）」を議題といたします。

当局の説明を求めます。企画財政課長。

○企画財政課長（菅野浩市郎君） 議案第1号、平成22年度川俣町一般会計補正予算（第6号）について説明した。

○議長（佐藤喜三郎君） これから本案について質疑に入ります。質疑ありませんか。
黒沢敏雄君。

○10番（黒沢敏雄君） まず、小島小学校の件についてお伺いいたします。

私は、これに反対するものではありませんが、ただ、風呂、これは100%源泉かけ流しのお風呂なんですね。ということは、すごい燃料費がかかるわけですよ。ですから、これをやる前にその循環とか、お湯焚きできるような方法を考えようとしたことはなかったのかどうかお伺いします。

○議長（佐藤喜三郎君） 答弁はだれですか。生涯学習課長。

○生涯学習課長（佐藤勝雄君） ご答弁させていただきます。

循環式ですと経費が掛かるということと、あと資格が欲しいということがありましたので、なかなかそこまでの予算がなかったというようなことでご答弁とさせていただきます。

○議長（佐藤喜三郎君） 黒沢敏雄君。

○10番（黒沢敏雄君） いや、この予算でやれということだけでなく、風呂の循環風呂の方が金かかるなんか、何言っているんですか。源泉かけ流しの方が金掛るのが当たり前じゃないですか。全然認識してないんじゃないですか、それは。だって、湯かけたまま、沸かしたまま皆流すのが源泉かけ流しですよ。小島の場合は。それを循環にして、結局追い焚きできるようにしてやれば燃料はかからないということです。だから、これは反対するものではないが、ただ、そういうふうなことは考えなかったのかということで、全然私の話を聞いてないじゃないですか。何を考えて答弁しているんですか。少し内容を考えた答弁してくださいよ。

○議長（佐藤喜三郎君） 生涯学習課長。

○生涯学習課長（佐藤勝雄君） ご質問に答弁させていただきます。

設備関係の設置にかかる経費の問題等でそういうふうな答弁をさせていただきました。あと、石油等については、運用で効率よく風呂に入るようなことで考えておりますので、ご理解をいただきたいと思います。

○議長（佐藤喜三郎君） 課長、それどういう検討をしてそういうふうになったか、今の質問の趣旨に答えてないんだよ。どういう検討の結果、こちらを選んだのかということの説明してくれないと答弁にならない。

○議長（佐藤喜三郎君） 教育長。

○教育長（神田 紀君） ご答弁申し上げます。

設計の段階で課長をはじめ課長補佐より提案がありまして、そのことについては私も黒沢議員同様、循環型と、それから直接釜で焚く、あるいはボイラーから引っ張ってくる方法、どちらがいいんだと。この点を十分業者と詰めなさいということでした。話し合いをいたしました。業者の方の回答といたしましては、循環させる、毎日使うのであれば循環方式がよいと。また、そのそうでなければ衛生面の点で、詳しくは私、そこまでは説明は受けませんでしたけれども、いろんな事情があるんで、毎日使わないのであれば、また三つを交互に使うような場合であれば直接方式が良いのではないかというような説明を受けたというふうに報告がありましたので、その設計どおりに進めさせていただいたところでございます。

以上で答弁といたします。

○議長（佐藤喜三郎君） 黒沢敏雄君。

○10番（黒沢敏雄君） 私は、その衛生面の話としては、源泉かけ流しはそれは確かに良いですが、燃料が大変なんです。ただ、循環風呂にしても毎日循環させるわけではなくて、それは一日かけ流すのであれば、その日に沸かした分はその日に循環して温くなったら追い焚きをするというような方法が考えられるのではないかと。ことなんです。ですから、こういった予算が足りなかった場合には、これはこれで充当するのは良いと。ただ、将来的にはやはり今私申し上げたようなことをしないと、毎日焚くのではないと、お客様が来ないという意味を指しているのかどうか、それは分かりませんが、お客様が来なければ何もやることないからいちばんいいんですけどね、でも、小学校とすればお客様、多く呼びたいというのが本音なんです。ですから、そういった意味においては、そういったことの準備を整えてやるのが私は普通ではないのかなというふうに考えるのですが、その辺はいかがでしょうか。これ3回目で終わりですから、ちょっと考えた答弁をお願いします。

○議長（佐藤喜三郎君） 教育長。

○教育長（神田 紀君） 黒沢議員にご答弁申し上げます。

ただいま私も新たな認識の下に質問の内容を聞かせていただきました。今後、オープンして、今あの実際には三つの風呂の効率ですね、それからあと一風呂いくらかかるのかというのを今計算しております。報告は受けておりますが、小さい風呂で約2,000円の燃料費がかかるやに伺っておりますが、更にそれが間違いないのかどうか、今その燃料費の計算をさせておるところでございますので、今後非常に燃料費が、消費量が多いということになれば、これは今後やはり考えていかなければならないというふうに思っておりますので、十分その辺を勘案し、今後対応してまいりたいと考えております。以上で答弁とします。

○議長（佐藤喜三郎君） ほかに質疑ありませんか。

新関善三君。

○9番（新関善三君） これらですね、今、継続しての質問になるわけですが、きめ細かな交付金ということで、補正予算の中で交付を受けて、それを小島の交流館の施設の充実ということで役立てていただいているわけですが、これら

1,368万1,000円というふうなことで、空調を17台ほど購入されるということでございますが、ご存じのように小学校の跡地でございまして、非常に空間が大きいというようなことで、これらを導入することによって、果たして今までの計算上、通常経費が今までより以上にかかるというふうな一つの予測が当然出てまいるわけでございまして、これらに関しまして通常経費の算出基準、あるいはこれらの空調に対します消費電力はどれだけの性能の良いものを入れているのか、あるいは昨今の設備投資にありましては、エコということ等について非常に配慮されてどこでも設備されているわけでございますので、それらエコに関しての討議は十分されてあるのか。あるいは先程来風呂の問題でも指摘事項があったわけでございますけれども、このようないままでの風呂の設置やなんかの教訓を生かして、これら電気工事関係等についても十分討議されているのかどうか等について確認をさせていただきます。

○議長（佐藤喜三郎君） 生涯学習課長。

○生涯学習課長（佐藤勝雄君） 小島の方の空調機の設置でございますが、電気代については、相当かかると予想されておりますが、まだ、機械等も設置、あるいは機種を選考等もしておりませんので、まだ計算しておりませんので、ご理解をいただきたいと思います。

○議長（佐藤喜三郎君） 新関善三君。

○9番（新関善三君） それじゃ、積算根拠はどこに求めて、こういう数字が出てくるのか。あくまでも漠然とした数字の出し方が通用するのかなど、これが行政のあり方かといいますと、非常に疑問になってまいりますので、やはりそういった積算根拠を明確に、そしてここはこう直すんだ、あるいは消費電力はどれだけの消費電力を軽減出来得るような機種を選定してあるんだというぐらいまでは、明確に検討いただきたいと思います。

○議長（佐藤喜三郎君） 生涯学習課長。

○生涯学習課長（佐藤勝雄君） ご質問に答弁させていただきたいと思います。

エアコンについては、ワット数等は考慮しておりますが、それを基にしてきちんとしたエネルギー等を計算しておりませんでした。そういうことで後ほどきちんとワット数等を考えながら運用したいと思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。

○議長（佐藤喜三郎君） ちょっと当局、これでは。教育長。

○教育長（神田 紀君） 新関善三議員のご質問にご答弁申し上げます。

実は12月議会でご答弁申し上げましたように、本小島の交流館のエアコンの設置等については、当初の計画に入っておりませんでした。その理由は、福島県の青少年自然の家、あるいは国立磐梯青年自然の家等におきましては、いわゆる個室には、青少年の自然体験ということと、自然にふれあうということでエアコン設置は管理室等以外は付いていないわけでございまして、そういう観点から設計をいたしました。しかし、質問の中で必要ではないかというようなご質問ございましたので、

教育委員会として検討をいたしまして、都会の子どもたち、あるいはまた一般の地域居住の方々等の利用も今後考えられますので、設置に向けて検討をいたしました。その中で個室につきましては、これはいわゆる事務室で操作する、中で子どもたちが操作するものではなくて、できるだけ自然の状況で生活させ、昨年のような猛暑の場合には考慮するというようなことでは確認いたしました。また、一般のお客様につきましては、必要があれば事務所から冷気を送るというような方式を考えておりまして、食堂、あるいは集会施設等には大型のものを入れるということでございますので、今後、どのぐらいの電力消費があるのか、これ私もまだ報告受けておりませんので、今後即担当の方に申し上げて、後日お知らせを申し上げたいというふうに思っております。以上で答弁いたします。

○議長（佐藤喜三郎君） 新関善三君。

○9番（新関善三君） そうしますと、この金額は最終的に変更になる可能性もあるというふうな含みの予算計上であるわけですね。確認だけさせていただきます。

○議長（佐藤喜三郎君） 生涯学習課長。

○生涯学習課長（佐藤勝雄君） ご答弁をさせていただきます。

見積書をいただいております。その中で細かいところがありますので、その方向で実施したいというふうに考えております。

○議長（佐藤喜三郎君） 課長、今、確認された部分について答弁してない。変更があるのかないのかということ。

生涯学習課長。

○生涯学習課長（佐藤勝雄君） 提案のところのしたものについては、見積もりがありますので、このように提案をして、その後入札等になるかと思います。

○議長（佐藤喜三郎君） 変更になるのかならないのかということ。今後。変更があるのかということ。

○生涯学習課長（佐藤勝雄君） ご答弁申し上げます。

設計等については、このようにしますけども、お金等については変更があるかと思っています。

○議長（佐藤喜三郎君） ほかに質疑ありませんか。

昆久美子君。

○7番（昆久美子君） 7番 昆でございます。今回、光をそそぐ交付金事業において、図書の実を収るということで、私は異議はないのですが、昨今、読書離れが言われている中で、参考までに本町の中学生の図書利用状況をお伺いいたします。

○議長（佐藤喜三郎君） こども教育課長。

○こども教育課長（佐藤光正君） 昆議員のご質問に答弁を申し上げます。

中学生の読書の状況でございますが、平成22年11月に調査いたしましたところ、川俣中学校、山木屋中学校とも平均1人1か月間3.1冊の読書量でございます。これは全国平均と比べましても、若干上回っているという状況でございます。

以上、答弁とさせていただきます。

○議長（佐藤喜三郎君） 昆久美子君。

○7番（昆 久美子君） 幼稚園とか小学生ですと本町でも読み聞かせ教室とか、朝の一斉読書などで、これは新しい本が入れば十分指導して活用が図れるかなというふうに思えるわけですが、中学生の場合は、先ほど課長からの報告では図鑑とか辞典など買いたいということだったんですが、今、図鑑とか辞典などは、私らの頃にはそれしかなかったからよく活用させてもらったと思うんですが、今の子どもたちはそういったものでは十分に利用してもらえるのかなとちょっと危惧してたものですから、いずれにしましても、結構大きな予算が付きますので、是非効果的な活用が図れるように現場の方とよく検討していただきたいと思うわけなんです、その件につきましてもう一度再度お伺いいたします。

○議長（佐藤喜三郎君） こども教育課長。

○こども教育課長（佐藤光正君） 昆議員のご質問に答弁申し上げます。

今回の交付金の内示に当たりまして、教育委員会といたしましても各小中両学校、幼稚園、保育所と協議いたしまして、それぞれ今後どのような図書類が必要となるのかというふうな希望を取って積算し、補正予算に計上させていただいたところでございます。それによりますと、中学校等につきましても、いわゆる自ら調べるという習慣を身に付けさせるような図鑑とか辞書類とか、そういったものを重点的に購入したいと、それを使って授業を進めてまいりたいというふうな話になりまして、今回の補正予算の計上に至ったものでございますので、どうぞご理解をいただきたいと思います。以上でございます。

○議長（佐藤喜三郎君） ほかに質疑ありませんか。

遠藤宗弘君。

○14番（遠藤宗弘君） ちょっと私も疑問に思ってるんですが、この前の議会の中では、小島の自然体験館については、自然体験館だからエアコンは入れないんだということをこの場でも明確にしているんですよね。それがだから、どういういきさつで、まあ、都会の子どもを呼ぶために必要だとかなんかということは言われているんですが、都会から自然体験を目指してきた人に、わざわざ空調設備の中で暮らせていいのかどうなのか、その辺の根本的な問題がどのような検討がなされたのかを1点明確にしてもらいたいと思うんです。

それから、図書購入、まあ大体1,400万円ぐらいになるんだと思うんですが、これは図書購入としても非常に大きな金額だと思うんです。不幸なことに川俣の本屋さんというのは2軒かそこらきりないんですね、今ね。これ地元からの購入をどのように、この本の購入ね、できればやはり地元から購入していただきたいと思うし、本屋さんが少なくなるというのは非常に私も寂しい思いをしているんですが、そういう点でこの本の購入の方法は、どのような方法で行おうとしているのかについて質したいと思うんです。

○議長（佐藤喜三郎君） 生涯学習課長。

○生涯学習課長（佐藤勝雄君） ご質問に答弁させていただきたいと思います。

主に今回のエアコンの設置につきましては、就寝する場所ということで考えております。あとは実習室については、エアコンが入らないということで、研修時にはそのそういうところで研修すると。寝る際にはエアコンのあるところで寝ていただくというようなことで考えております。

あと、公民館分の図書の購入であります。今までも地元で全部お願いをしておりますので、今回も地元で購入するというふうに考えております。以上です。

○議長（佐藤喜三郎君）　こども教育課長。

○こども教育課長（佐藤光正君）　遠藤議員のご質問の本の図書の購入に当たってどのような方法で購入するのかというご質問でございますが、議員ご指摘のとおり、書店は2件でございますが、幼児書だけを専門に扱っている事業所も1軒ございます。今までもそのような事業所から購入しておりました。若干、注文から時間がかかるかということはございますが、支障なく購入することは今までもできておりますので、図書目録等を参考にし、適切な本を町内から購入してまいりたいというふうに考えております。以上、答弁とさせていただきます。

○議長（佐藤喜三郎君）　ほかに質疑ありませんか。

高橋道弘君。

○1番（高橋道弘君）　何点かお聞きしたいんですが、まずはハード事業の方ですかね。水路3か所の、それから道路維持補修が7か所ですか、あとまあ小島の体験館ということになっているんですけど、昨年の9月議会で第5次振興計画が決まって、ハード事業についても第1期の前期分というんですか、5年5年ということらしいですから、前期分の経過が決まったと思うんですが、ハード事業についてはそういった町の総合計画に基づいて予算措置をしていくというのは、これは筋であろうし、そのための総合計画だろうと、こう思うんですが、ただ、中身を見ますと道路維持修繕事業と、こうなっているんですね。ですから、そういった振興計画に上がってくるような道路の改良とか、改築とは別なんですよと意味だろうというふうに私は取っているんですけども、ただ、その中に1か所ですね、仮称町道油田2号線道路維持補修というのがあるんですね。これは改良舗装工事と書いてあるんですよ。これ多分現実には道路はない工事ですよ。道路がないところですよ。たぶんこの今予算でやろうとしている。すると、道路ないところを維持補修するんだという項目に上がってくるというのは、どういう趣旨でね。道路あるところを維持補修するんだというなら私もそこに予算付けるのは分かるんですけども、新設改良される予算が維持補修費だということはどういうことなのか、一つ質しておきたいと思うんです。

それから、あと図書購入でありますけれども、積算の話は大ざっぱに財政課長、ずらずらとこう言ったんですけど、保育園なり幼稚園なり小学校、中学校というのは、多分それぞれ担任の先生、教諭がいらっしゃってそれぞれの需要に基づいて積算なさってきたんだと思うんですけど、だから、基礎資料があると思うんで、どういう本をどのぐらい買うんだくらいは、何冊買うんだくらいは是非知っておきたい

と私は思うんで、その分を教えていただきたいというのが一つと。それから中央公民館についても同じく何冊買うのか知りたいんですけども、中央公民館の場合は特に昔から1人当たり、町民当たりの蔵書数というのかな、それぞれ自治体が目指しているものがありますよね。大体全国平均で町民1人当たりこのくらい本があつて、そのことによって町民の学習する基本が整えられると、こう言うような話があるんで、どのくらい買って、今回やるとそれがどのくらい達成されるのか、この中央公民館に付いてはね、その数字もお示しをいただきたいと思うんです。

それから、小島の話であります、17機というんですけど、詳細はよく分からないですよね。寝室が何部屋あるのかも我々はお知らせいただいてないわけでありまして、就寝するところに付けるんだというんですけど、就寝するところ何部屋あつて、それはつける。あと就寝でないところも付けるんでしょう、何か今の話を聞いていると。要はだから、計画分からないじゃないですか。この17機付けます、何百万、何千万かかりますと言っているんですけど、どこの部屋にどのようなものを付けて、それはその集中方式で管理するんだかどうか、それはさっき集中方式かなと思って私聞いていたんですけど、だから、その辺の詳細な計画を是非教えていただいて、何基でなんぼになって1,300万円になるんですと、こういう話を是非説明いただきたいのですよ。その結果として、じゃ、どれだけ来年からの4月1日から稼働した場合に当初の予定のランニングコストに対してどの程度ランニングコストが逆にかかってくるのか、そうでしょう、電気料使うんですから、その場合に例えばその当初契約した容量オーバーしてないのかなと、17機もこれボーンと入れてですね、電力量の契約している料金オーバーしないのですか、そこもちゃんと検討したんですか。その辺も全部教えていただかないと良い、悪いという話にはなつてこないのではないかなというふうに思いますので、是非分からないところ丁寧に教えていただきたいと思います。以上、質問です。

○議長（佐藤喜三郎君） 建設水道課長。

○建設水道課長（沢井一雄君） いちばん最初のここでありまして維持補修工事で道路改良する分に関してどのような、どうして提案したということでございますが、議員ご指摘しました油田2号線といいますのは、地元で建物を壊していただき、用地を寄附していただいたところでありまして、既存の油田線との接続の関係で施設、要するに道路としての施設、水路等の整備を、水路等との接続等を含めまして、現時点の道路に対する補修的なものを含めての改良という意味で補修工事の中に上げさせていただきましたので、ご理解を賜りたいと思います。以上でございます。

○議長（佐藤喜三郎君） こども教育課長。

○こども教育課長（佐藤光正君） 1番 高橋議員の図書購入に当たりまして、どのような本を何冊ぐらいずつ購入するのかというご質問でございますが、幼稚園、保育園等におきましては、読み聞かせ用の大型絵本をそれぞれ7冊ずつの合計36冊。自然季節に関する絵本を6園合わせまして40セット。道徳に関する絵本、これはしつけとか友達の絵本でございますが、これらも6園合わせて40セット。食育に

関する絵本20セット。科学に関する絵本20セット。合計120セット、1セット5冊から10冊ほど入っているものもございまして、冊数としては正式に申し上げにくいのですが、合計約120セットの購入を見込んでおります。また、小学校、中学校におきましては、自然や科学に興味を持たせるために自然観察のための図鑑、これをそれぞれ40冊ずつ、小中学校40冊ずつ。低学年用の絵本、小学校の低学年でこれは小学校それぞれ40冊。あと同じく低学年用の大型絵本、これ紙芝居も含むわけですが、小学校それぞれ20冊。あと辞書類でございまして。国語辞書、漢和辞書、そして英和辞書、和英辞書の辞書類でございまして、小学校で250冊、国語辞書、漢和辞書含めまして250冊、中学校の漢和、和英、英和の3種類をそれぞれ50冊ずつ。それから古典の読み物、全集ものでございまして、20冊、これは小中学校それぞれ20冊ずつ。キャリア教育、進路指導でございまして、これに関する図書をそれぞれ20冊ずつ。あと国語科の教科書に出てきます紹介図書を小学校で合計400冊、中学校で合計200冊で、おおよそ小中学校合わせまして4,000冊ほどの図書を購入したいという計画でございまして。

以上、答弁とさせていただきます。

○議長（佐藤喜三郎君） 生涯学習課長。

○生涯学習課長（佐藤勝雄君） ご質問に答弁させていただきます。

今回の購入であります、中央公民館では一般書として120冊、児童書として400冊、辞書として60冊、全書として78冊、専門書として40冊、計697冊を中央公民館では購入する予定でございまして。

あと、地区公民館では総冊、全地区にありますけれども、全部で460冊ということで、合わせて1,158冊ということに今回なります。現在、3万冊、地区公民館と中央公民館を合わせて3万冊の蔵書がありますから、今回1,000冊を加えるということになりますと、町民の方々に行き渡るのは大体2冊ずつくらいは町民の方に行き渡るというようなことになるかと思っております。

あと、小島の設置場所であります、11室の就寝場所がありますので、まず11室でございまして、そのほか事務室関係と宿直室というところで3台、あとは調理実習室なんです、野菜、あるいは肉等を置くということで、そこにもエアコンは必要というふうに考えられますので、そこに、1セットで2台、1セットであります、機械は2台、あと読書ライブラリーというところがありますので、そこに付けることとしたいと思っております。それで先ほど申しましたように実習室、工作室等については、今回、あるいは廊下等につきましては設置を見送らざるを得なかったというような状況でございまして。

あと、ランニングコストについては、計算もかかりますので、後日お答えしたいというふうに思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。

○議長（佐藤喜三郎君） 電力容量。

○生涯学習課長（佐藤勝雄君） 今回の設置に関しましては、間線動力の設備工事というものも伴っておりますので、それらに対応するようなことで考えております。

以上、答弁とさせていただきます。

○議長（佐藤喜三郎君） 高橋道弘君。

○1 番（高橋道弘君） 道路のことですけど、課長のいうことも分からないこともないけどもね、全くないね、何百メートルも離れているところにぽつんと出来るわけじゃないですか、今回はね。だから、仮称路線番号まで付けているわけじゃないですか。ですから、維持補修費なんていうのはどう考えたって、世間の常識からいったって通らない話ですよ、何百メートルも離れたところに新しく今度便利になって出来ること、それはいいことだから構わないですけど、予算の取り方としてはやはりね、その町長だってほれ、力込めて取るわけでしょう、今回わざわざね、第5次振興計画で前倒しでやるのはこの道路しかないんですから、私が見る限り。実施計画で見える限り。それが維持補修だといったんではこれ意味合いが非常に私はおかしいと思うんですよ。やはり新設、道路新設改良で前倒しで交付金でこの道路を先行してやるんですということをきちっと打ち出すうえでもですよ、私はやはり予算取りはきちっとすべきだと、こういうふうに思うんで、そういうがながいいといっている企画財政課の方もどういう考えなのか、町長がここに取れといったから取ったんでしょうけども、あくまでも新設でしょう、これ。新しく道路の路線名付けると言ってるんだから。だから仮称といっているわけでしょう、わざわざ。だから維持補修ではないですよ、だれ考えたって。適切なやはり予算計上しないとまずいと思うんで、再度聞いておきたいと思います。

それから、蔵書の話は大変よく分かったんですが、先ほども言ったように、幼稚園だの保育園だのというのは、その学校だのというのは、ほれね図書担任の先生もいるし、あるいは子どもたちも入って、児童生徒も入っていろんな活動もなさっているんで分かるんですが、この中央公民館で買うという、1,158冊の選定というのはどういう場所でどういう方がなさって、この1,158冊になったのかなということと、先ほど質問したもので答弁がないのは、地方自治体というか、市町村が大体1人当たりどのくらいの蔵書数というのを目標にして整備をしてきて、これをやることによってどれだけ達成できるんですかということを私聞いたんだけど、その答弁はないんで、そういう選定経過でこの1,158冊を選ばれてきたのかということと、これによってどれだけ川俣町教育委員会が目指す生涯学習のための蔵書数、1人当たりの蔵書数というのが確保されるのか、再度答弁をお願いしたいと思います。

それから、今回の工事では、小島の話ですけどもね、動力線の工事までやるということは、いままでの電気配線とは全く別に工事をやらないとやれないということじゃないですか。ということは、これはあれでしょう、これ。新規にね、単に部屋に付けますよというだけの問題ではなくて、もうまるっきり新しく追加工事をやるのと同じことなんでしょう、これ。だとすると、その契約電力量も変わるんじゃないですか、当然。動力入れるということになったら。今までのその改築したときのままの契約電力料金のままでいけないと思いますよ、多分変更になると思うんで

すよ。その話はどこにも載ってきてないわけだから、また3月補正あたりでね、この前も工事終わったばかりなのに300万も12月議会で補正取ったわけでしょう、これ。あれが抜けった、これが抜けったとって。今回も今度これやったら3月補正であれも抜けった、これも抜けったと補正が出てこないんですか、これで間違いなくできるんですか、そのこともう1回お聞きしておきます。

○議長（佐藤喜三郎君） 建設水道課長。

○建設水道課長（沢井一雄君） 先ほどの質問の中でありました道路維持補修の取り方と考え方でございますが、今回設道しますのは、あくまでもメインとなるのは油田線でございます。油田線というものの改良はずっと今まで何回も陳情等で上がってきております。それに対して40メートル分の私線的な設道ということですので、あくまでも補修工事の中でという考え方で今回提案させていただきますので、どうかご理解いただきたいと思います。

○議長（佐藤喜三郎君） 生涯学習課長。

○生涯学習課長（佐藤勝雄君） ご質問に答弁させていただきます。

中央公民館の図書については、従来から図書館等で寄せられたご意見、あるいは現在県立図書館との連絡をとりながら現在の図書の動向等を勘案しながら、図書室からの案を下に生涯学習課等で決めている状況でございます。

あと、市町村の達成度につきましては、今現在、調査中でありまして、後日に答弁させていただきたいと思います。

また、小島の電力等につきましては、利用の状況でちょっとまだ予測はつかないところもあるんですが、現在の予算の中でやれるというふうに踏んでおりますので、23年度からの、22年度であります、運用はエアコン等についてはそういうふうな状況になりますので、後日ご提案申す場合もあるかと思っておりますので、よろしくお願いしたいと思います。

○議長（佐藤喜三郎君） 高橋道弘君。

○1番（高橋道弘君） 道路の方が先ね。道路のことですけど、課長ね、言うこと分かるんだけど、けども、現実に振興計画にはなんて書かれているかというと、これ。仮称油田2号とわざわざ入れてあるわけだ、ちゃんと路線名まで。油田線の改良工事やりますとは書いてないんですよ。仮称油田2号線というのをあそこに造って、長年の課題であった戸ノ内の人々の連絡通行をきっちり、生活、毎日安全に通行できるようにしましょうということの請願があって採択になって計画に載っているわけでしょう。だから、維持補修ではないでしょう、位置づけはどう考えたって。ですから、そういうふうに振興計画のときに作ったんだから、それ15本あるうちの1本なんですよ。振興計画前期計画で道路直しますとっているうちの1本前倒しでこれ25年にやると書かれて、年度は25年と書かれている。それが今22年度でしょう。23年度予算じゃないでしょ。22年度ですよ、まだ。これが3年も前倒しでやるということを前面に打ち出せないような予算の取り方はないでしょうというの。だって改良と書かれているんだもの。道路改良と。道路修繕と道路改良は

明確に毎年位置づけ違くして出しているわけでしょう。財政だって。それを原価から上がってきたら、はいはいはいはいと、みんなここさくくつまえでは、だから町民から見たら、何やってるんだかわからない予算付けになるんですよというの。何をやりたいのか、なんでわざわざ2年も前通しにしてここに予算付けて800万の道路を造るのかということ打ち出さなかったら、せっかく町長なんぼ予算付けたって意味ねえべした。どこかへ飛んじゃいますよ。維持補修ほか7路線で終わりでございますと、こうなっちゃうじゃないですか。ましては今度逆にほかの14路線の人々にとっては、なんで油田線だけ早くできんだと。こういう問題になるわけじゃないですか。そういうことをきっちり情報開示するような予算の取り方、計上の仕方、提案の仕方しないとまずいでしょうということを言ってるんですよ。ですから、あくまでも維持修繕ではない、あるんだということではないんだから、維持修繕ではないんだから、新設なんだから、今宅地で何も無いところさ盛り土してこれから道路造るわけでしょうに。それが維持修繕だといったら、なんだって維持修繕になっちゃういますよ。そこはきっちりやはり予算付けするときに、提案するときに町長の意も汲んで、せっかく予算の5次振興計画作って最初の事業がどこさ、いつやったんだかわからないような予算の取り方おかしいでしょう。町長だってそうしてもらった方が良くと思うんで、是非あのそういう予算の取り方をしないということをして今後明確にしていだきたいと思うんで、再々しておきます。

それから、図書の話は図書館の中に、中央公民館の中にあるの、何かそういうその図書選定委員会みたいな組織が。そういうことを聞いているんですよ。学校だったらあるでしょうと。千何百冊を買うことは良いことですが、それはだれがどこで集まって決めたんですかと私は聞いているだけなんです。お話しクラブの人だとかいろんな人たちがいるわけでしょう、係わっている人たちが。そういう人たちの声も聞いて、その1,400冊を買うようにしたんですかと、どんな場所でどんなふうを選定なさったんですかということをお聞きしているだけなんで、是非明確に答えをいただきたいんです。

あと、小島の話は、見積もりもらってあるから出すと、さっきから言っているでしょう。そしたらその何キロワット増えるの、全部でじゃ。今回17か所工事やると。何アンペア取らないと、動力線で言えば何アンペア取らないと稼働しないのか。そしたら基本料金だってなんだって上がってくるんだもの、工事終わった途端に基本料金上がるんじゃないですかというの。だったら補正必要になるんじゃないですかと私は心配しているだけなんです。今までは動力は入ってないから動力の工事やるんでしょう、これから。だから、工事の完成年月日、いつなんですか、これ。それによって新年度でも対応できるということがありますが、継続工事でやるのか、年度内の工事の発注を目指しているのか、そこをじゃ再々で聞いておきますから。

○議長（佐藤喜三郎君） 生涯学習課長。

○生涯学習課長（佐藤勝雄君） 答弁させていただきたいと思います。

現在まで図書に関しては、選定委員会なるものはありませんでしたので、今後検討いたしたいと思います。(不規則発言あり)

今までは図書室に寄せられた意見、あるいは県立図書館とのお話し合い等で売れ筋の図書を購入していたということでございます。

あと、小島に関しては、動力工事が必要となりますので、ワット数につきまして、細かく申し上げますと冷房と暖房等がありますが、まず冷房だと2.8キロワットアワーが1台、5.0キロワットアワーが10台、5.6キロワットアワーが3台、8.0キロワットアワーが1台、16.10キロワットアワーが1台ということでございます。あと暖房に関しては、同じ機械でございますが、4.0キロワットアワーが1台、6.3キロワットアワーが10台、6.7キロワットアワーが3台、10.6キロワットアワーが1台、18.0キロワットアワーが1台というようなことで電力については、ご覧のような、申し上げたような数字のものでございます。

以上、答弁とさせていただきます。(不規則発言あり)

後ほど計算したいと思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。

◇ ◇ ◇

○議長(佐藤喜三郎君) それでは、ここで休憩します。暫時休議します。

今の答弁、しっかり調べて答弁してください。

(午前11時12分)

◇ ◇ ◇

○議長(佐藤喜三郎君) 再開いたします。(午前11時40分)

◇ ◇ ◇

○議長(佐藤喜三郎君) 生涯学習課長。

○生涯学習課長(佐藤勝雄君) すみませんでした。それでご答弁を申し上げたいと思います。

まず、図書の方であります、2004年で日本図書館協会の方で出している数字がありましたので、そこでは人口規模で申しますと川俣町は1人当たり3.6冊ということが最低として望まれるということでございますので、現在、中央公民館にあります図書については、1.2冊ということになります。地区公民館を足しますと2.05冊ということでありまので、まだまだ基準にまでいってないという状況でありますので、よろしくお願ひしたいと思います。

あと、小島の電気量であります、積算をしまりました。現在、基本料金が3万4,000円、使用料が毎月3万3,000円ということで、月々6万7,000円、あるいは7万円近くのものでありますが、工事をしますと基本料金が7万円ということで、あと使用時間等によりまして1時間当たり400円の電気使用料がかかるということありますので、21日稼働した場合は8時間ということで、21日稼働した場合は8時間ありますので、これ全期間、月々ということありますが、15万円くらいにはなる予定でございますが、予算の段階でこれらを少々勘案して予算を組んでおりますので、ご理解をいただきたいというふうに考えてます

ので、よろしくお願ひしたいと思ひます。(不規則発言あり)

工事期間は、今回あの議決をしていただいたあと、年度内に全工事を完成するのはなかなか難しいやに思われますので、使用する6月、7月前には終わりたいと思ひますので、そういうことで繰越明許等をお願いするかもしれませんので、よろしくお願ひしたいと思ひます。以上、答弁とさせていただきます。

○議長(佐藤喜三郎君) ほかに質疑ありませんか。

(「質疑なし」という声あり)

○議長(佐藤喜三郎君) これで質疑を終わります。

これから討論を行います。討論ありませんか。

(「討論なし」という声あり)

○議長(佐藤喜三郎君) 討論なしと認めます。

これから議案第1号を採決いたします。本案を原案のとおり決することにご異議ありませんか。

(「異議なし」という声あり)

○議長(佐藤喜三郎君) 異議なしと認めます。

よって、本案は、原案のとおり可決されました。

◇

◇

◇

◎閉議及び閉会の宣告

○議長(佐藤喜三郎君) 以上で本臨時会に付議されました事件はすべて議了いたしました。

これをもちまして平成23年第1回川俣町議会臨時会を閉会いたします。ご苦労さまでした。
(午前11時42分)

本臨時会で決定した事件は、次のとおりである。

報告第 1 号 専決処分の報告について

(専決第 1 0 号 川俣町光ファイバ通信網施設整備工事請負契約の一部変更
について)

議案第 1 号 平成 2 2 年度川俣町一般会計補正予算 (第 6 号)

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

川俣町議会 議長 佐藤喜三郎

同 署名議員 石河 清

同 署名議員 遠藤 宗弘